

## 2.6 景観

### 2.6.1 存在・供用による影響

#### 1 予測図（フォトモンタージュ）

処理方式ごとの建物の大きさについては本編図1-7-3(1)～(3) (P1-13～P1-15参照)の示すとおりである。

建物が最も広く視認することができる地点No. 6 地点（更埴 I C）と周辺住民から最も視認されやすい地点No. 5 地点（国道18号沿線）からの「ストーカ式焼却+灰溶融（燃料）方式」及び「流動床式ガス化溶融方式」の予測図（フォトモンタージュ）は表2-6-1及び表2-6-2に示すとおりである。

2方式を比較した結果、「流動床式ガス化溶融方式」の建物が大きいいため視認できる範囲が広くなると予測したため本編に示した。なお、「シャフト炉式ガス化溶融方式」は「流動床式ガス化溶融方式」と比べ、縦×横×高さが小さいことから省略した。

表 2-6-1 No. 6 地点（更埴 I C）のフォトモンタージュ（落葉期）

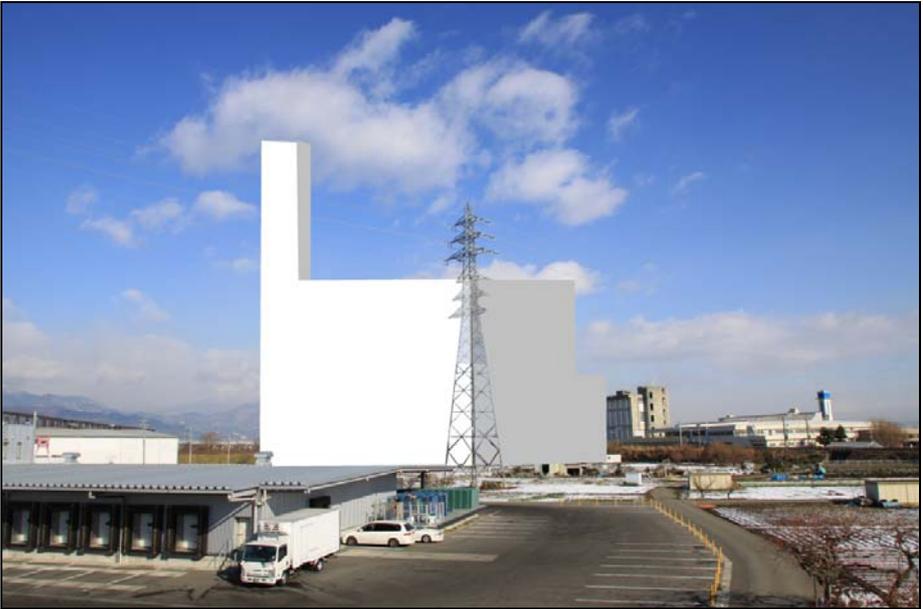
眺望景観	
ストーカ式焼却 +灰溶融（燃料） 方式	
流動床式ガス化 溶融方式	

表 2-6-2 No. 5 地点（国道 18 号沿線）のフォトモンタージュ（落葉期）

眺望景観

ストーカ式焼却  
+ 灰溶融（燃料）  
方式



流動床式ガス化  
溶融方式

